

## 第1回 四万十町地域公共交通活性化協議会 議事録要旨

- 開催日時：令和5年6月20日（火） 14時30分～16時10分
  - 会場：四万十町役場本庁東庁舎1階 多目的大ホール
  - 出席者：森武士（本協議会会長 四万十町 副町長）、別府慶一（高知県中山間振興・交通部交通運輸政策課 課長）代理出席：横山厚史、山本圭（国土交通省四国運輸局高知運輸支局 総務・企画観光部門 首席運輸企画専門官）、宮野広至（国土交通省四国運輸局高知運輸支局 輸送・監査部門 首席運輸企画専門官）、長谷川涼（高知県窪川警察署 交通課長）、田中輝希（高知県須崎土木事務所 四万十町事務所 工務課長）、田岡弘久（四国旅客鉄道株式会社 高知企画部長）代理：川崎佳孝、猪野健良（株式会社四万十交通 路線事業部 総務課）代理出席：吉岡真佐人、三浦ひろみ（有限会社丸三ハイヤー 専務取締役）、國元豊美（住民または旅客）、谷崎直子（住民または旅客）、船村覺（四万十町区長連絡会 会長）、植村耕平（医療法人川村会くぼかわ病院 危機管理室長兼施設管理課長）、吉川耕司（四万十町国保診療所 事務長）、佐藤明（特定非営利活動法人地域支援の会 さわやか四万十 移動支援コーディネーター）、濱崎隆（株式会社ハマヤ 代表取締役社長）、北村光司（一般社団法人四万十町観光協会 事務局）、浜田章克（教育委員会 教育次長）三本明子（高齢者支援課 課長）
  - 欠席委員：西内裕晶（高知県公立大学法人高知工科大学システム工学群 准教授）、尾崎弘明（社会福祉法人しまんと町社会福祉協議会 事務局長）
  - オブザーバー：木村圭佑（国土交通省四国運輸支局 交通政策部 交通企画課）
  - 事務局等：川上武史、中川貴之、柴優樹、久保田啓嗣（四万十町役場 企画課）  
北村耕助、谷岡美希、富田努、西内隆朗（十和地域復興局 地域復興課）  
土居貴之、藤田順也、橋詰昌武（合同会社えこ・まち研究室）
- 

### 1. 森会長あいさつ

本日は大変重要な議題を二つ用意している。令和2年度に地域公共交通網形成計画を策定した。令和7年までの計画だが、コロナの影響を受け計画を一年繰り上げて、後継の計画を準備する。限られた時間内での会議だが率直な意見交換をお願いしたい。

※ 事務局より委員、21名の内19名の出席により、会議成立を報告。

### 2. 会長の改選について

### 3. 報告事項

#### (1) 令和4年度の取り組んだ事項

事務局より、資料1「令和4年度の取り組んだ事項」について説明。

## 【質疑応答及び意見の提示】

(山本委員)

- 乗務員確保への支援として、町のホームページに求人情報を掲載していると思う。交通事業者に向うが、乗務員不足について、町の求人情報は役に立っているか。

(吉岡委員より回答)

⇒ 現状の路線バス運行に関しては、乗務員は足りている。しかし、これから定年を迎える乗務員がおり、3年後には人員が足りなくなる。5年後には貸し切りバスが運行できない状況になることが予想される。町の広報等で求人募集をお願いしたいと考える。

(三浦委員より回答)

⇒ 現在、乗務員の数には足りている。将来の事を考えると、今の内から人員は確保したい。しかし、余剰人員を抱える余裕はない。

(浜崎委員)

- 貨客混載について伺いたい。各地域から作物を町中心部まで運び、それを町外へ運ぶといったコミュニティバスを使った貨客混載は可能であるか。

(事務局より回答)

⇒ 荷物を載せること自体は可能。しかし、その路線経路上までどうやって荷物を持ってくるのか、そしてバスに誰が積み込んで、誰が受け取るのかという点が課題である。バスは運行経路が定まっておき積み込み等の都合に合わせることはできない。可能性はゼロではないが、細かい接続が厳しいと考える。また、コミュニティバスは車両が小さく、人を載せることが大前提であり、大量の品物を載せることは難しい。路線バスも経路が決まっているため、荷物の積み込み、荷下ろしが課題と考える。

(浜崎委員)

⇒ コミュニティバスは車両が小さい。しかし、バスが満員である所は見受けられない。経済的に収入が無ければ生活はできない、地域でこれからも生活を続けていく為、現況を見ながら貨物を少しでも積めるようにしていただきたい。

(事務局より回答)

⇒ 生産者がどこに住んでいて、どの路線が利用可能かなど、バス路線との整合を図り可能性を検討したい。

## 4. 協議事項

### (1) 令和4年度の事業評価及び検証

事務局より、資料2「令和4年度の事業評価及び検証」について説明。

【質疑応答及び意見の提示】

(森会長)

- 基本方針 2 にある「外出控えのクセ」という表現を変えたほうが良い。  
ナイスエイジカードとはどのようなものか。

(吉岡委員より回答)

⇒ ナイスエイジカードとは、ですかカードの一つであり、65 歳以上であれば通常よりお得にポイントが貯まるというもの。

(谷崎委員)

- IC カードについて、住民はその概要をよく分かっていない。そのため、地域に入っ  
て説明をして欲しい。  
十川地区では、バスの待合所が無い事が大きな課題となっている。  
今朝、予土線に乗っている県外の方に「四万十川を見たいのに木で見えない。」と話を  
聞いた。せっかくの名所が台無しになる。そのような点にも気を付けて頂きたい。

(國本委員)

- 雨に濡れないような工夫を停留所に凝らして欲しい。予算的に難しいのか。

(事務局より回答)

⇒ 待合所はスペースそのものの確保、停留所は道路の交通状況等が関係してくるた  
め、設置したい場所にすぐ設置できない。住民とも話し合って慎重に対応してい  
きたい。

(佐藤委員)

- 待合所を地元の人で造りあげるのはどうか。

(事務局より回答)

⇒ 前向きに検討していきたい。

令和 4 年度の事業評価及び検証：異議なし承認

(2) 令和 5 年度の事業実施概要について

事務局より、資料 3「令和 5 年度の事業実施概要について」を説明。

【質疑応答及び意見の提示】

(國本委員)

- 地域から地域情報を知らせる仕組みづくりとあるが、具体的に決めているのか。民生委員の地区の集まりがあるので、それに出向いて説明してくれた方がいい。

(事務局より回答)

- ⇒ 民生委員の方と連携して自身で移動手段を持たない人の情報収集を行う。  
効果的だと思うので前向きに検討する。

(谷崎委員)

- 民生委員の力を借りれば良いと思う。運転免許の自主返納を知らない人がたくさんいる。

(三本委員より回答)

- ⇒ 免許返納をした人にタクシーのチケットを配布する件の周知について、警察にお知らせを行ってもらい、区長会や広報等で定期的に発信する。

(佐藤委員)

- 1-①-02「福祉有償運送」と記載があるがこれは私達のことか。そうであれば、記載を変更して頂きたい。福祉有償運送は登録を受けた場合、受けない場合とある。登録を受けると、書類等の事務的な部分が大変でハードルが高いため、私達は登録を要しない形で運行している。「福祉有償運送」は登録がいる場合になるため、記載を「許可登録を要しない輸送サービス」に変更して頂きたい。

(三本委員より補足)

- ⇒ 3-②-01 の「十和地区においてあったかふれあいセンター十和への支援を開始」とあるが正しくは「さわやか四万十」である。

(事務局より回答)

- ⇒ 記載を変更しておく。

令和5年度の事業実施概要について：異議なし承認

(3) 四万十町地域公共交通網形成計画の計画期間終了と四万十町地域公共交通計画の策定について

事務局より、資料4「四万十町地域公共交通網形成計画の計画期間終了と四万十町地域公共交通計画の策定について」を説明。

【質疑応答及び意見の提示なし】

特に無し

四万十町地域公共交通網形成計画の計画期間終了と四万十町地域公共交通計画の策定について：異議なし承認

## 5. その他

### (1) 四万十町地域公共交通利便増進実施計画の検討について

事務局より、資料 5「四万十町地域公共交通利便増進実施計画の検討について」を説明。

### (2) 事業推進スケジュール

事務局より、資料 6「事業推進スケジュール」を説明。

## 6. 閉会 16:10